

第4回志賀地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1 日 時

平成30年7月9日（月）10:00～11:30

2 場 所

テレビ会議

3 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、資源エネルギー庁、陸上自衛隊、
海上保安庁

関係自治体等 : 石川県、富山県、石川県警、富山県警

4 議 題

- (1) 両県の取組状況について
- (2) 今後の進め方について
- (3) その他

5 概 要

(1) 両県の取組状況について

石川県及び富山県から、次の課題の取組状況について説明を行った。

○避難退域時検査の候補地及び体制

両県とも候補地の検討を継続中。

○要支援者の細部調査について（個別計画の策定）

石川県ではPAZ内の調査結果を精査中。UPZでは個別計画の策定支援を実施。

富山県では個別計画策定に向け要支援者の状況が把握できる防災マップの作成に着手。

○各種協会との連携強化

両県とも協会と協議を継続中。

○屋内退避施設の整備（石川県のみ）

10km圏内の屋内退避施設の整備は概ね完了。

(2) 今後の進め方について

内閣府から、次の事項を今後重点的に取り組むべき課題として進めていく旨の説明を行った。

○避難退域時検査の検査場所候補地及び検査体制

1避難経路につき1検査場所を確保すべく、検査に必要なスペース及び建物がある場所を検討。

○要支援者の細部調査

UPZの要支援者に関する調査は時間を要することが予想されるため、個別計画の推進等について早期の着手が必要。

○県内福祉車両数の調査

自治体やタクシー会社が保有する車両にとどまらず、社会福祉施設等が保有する福祉車両台数を調査し、輸送能力を把握。

○各種協会との連携強化

(3) その他

特になし。

以 上